

家族と私

グループ番号：B-4

名前：金明植(キムミョンジク)

私にとって大切なコミュニティーは家族です。

私は5人家族です。父、母、姉、兄そして私ですが、父と母は大田のすぐ下にある沃川(オクチョン)という田舎に住んでいます。姉と兄は二人とも結婚して大田に住んでいます。私は大学を江原道に行って、療に住んでいましたが、休みになったら、大田にある姉の家に住んだりしました。姉と兄の話をもっと詳しく言うと、私は姉と12歳、兄と10歳はなれています。

大田には私にとってとても大切な人が住んでいます。姉や兄の子供たちです。姉には5歳の息子が一人、兄には7歳の娘一人と、2歳の息子がいます。三人ともとてもかわいくて、いい子ですけれども、私が一番可愛がっている子は兄の末子です。見た目はもちろん、声もとても可愛いので、あの子はいつも私の自慢の種です。今回秋田に来る前にも私は大田でバイトをしていました。デパートでバイトをしましたが、仕事で毎日とても疲れていました。ですが、仕事が終わって、家に帰って扉を開けると、あの子は一番早く扉まで走ってきて、おかえりなさいと言ってくれました。その瞬間私は全ての疲労が飛んでいきました。今秋田に来てからも、私は毎日あの子の写真や動画を見ている。すると、いやされます。

インタビュー相手まで

私のインタビュー相手は家族です。家族はいつも一緒にいて、暮らしているからこそ、大切さを感じられないと思います。それで、今回に今まで家族と真剣な質問とか面白い質問がしたいです。

家族をインタビュー相手に決めた理由をもっと詳しく説明すると、家族みんな仕事で忙しいと思いますが、日本と韓国は時間が同じなので、夕方に電話やSKYPEなどができます。優しく私の質問に細かいことまで答えてくれると思って、家族をインタビュー相手に決めました。

家族とのインタビューのやり方は、上でも言いましたが、SKYPEやスマートフォンを使ってやる予定です。すると、お金もかからないです。家族とのインタビューはとても楽しみです。

これから、インタビューの内容です。

私：まず、お父さんに質問です。「家族がいて心強いとおもったことがありましたか」

お父さん：うーん。(真剣に考え込みながら) 仕事が終わって家に帰ってきたとき、みんなからおかえりなさいといわれるときとか、お正月やお盆のとき、特に「孫や孫娘のてんしんらんまん言動をみるとき」、こころづよくなる。

私：お父さんもそう思いますか。私もお正月やお盆のとき、家族みんな集まって、はなしたり、食べ物を一緒に作って食べたり、遊んだりするとき、すごくしあわせです。(幸せな表情で)

私：次はお母さんに質問です。お母さんは「一番悲しかったときはいつでしたか」

お母さん：ミョンが兵役のために軍隊に入ったときだよ。「そのときは本当に悲しくてかなしくて、涙がとまらなかった。」一ヶ月くらいは心配で、会いたくて毎日泣いていた。ミョンからいつ電話がくるかわからないから、ずっと携帯電話をみていたのよ。初めてミョンの手紙が家に着いたとき、特殊部隊にはいったと書いていてとてもしんばいだったの。特殊部隊はもっと訓練が厳しいから、けがはしていないのか、ご飯はちゃんと食べているのかと。でも、忙しくて面会を一度も行ってあげられなかった。それは本当にごめん。他の親は何度も行くのにミョンはさびしかったでしょう。

私：大丈夫です。俺すごく楽しかったし、あやまらなくていいです。厳しい訓練はもちろん大変だったけど、それなりにたのしくて、根性できたし、二年は思ったよりはやりました。あつという間でした。軍人のとき両親と家族の大切さを気づいてよかったです。

私：次はまたお父さんに質問です、「いちばんうれしかったときはいつでしたか」

お父さん：ミョンから「お父さん、愛しています」といわれたとき一番うれしかった。最初にいわれたときは、うれしかった一方はずかしかったけど、どんだんなれてきて、今は逆に自分からいうからな。

私：そうですね。今は逆にお父さんから愛しているといわれるんですね。わたしだって最初にいったときすごくはずかしかったです。いう前に何回も深呼吸してから、いいました。それが多分2009年のことです。親の大切さについての演劇をみて、すごく泣いてから、今日絶対両親に「あいしていますといわなきゃ」と思いました。あの演劇にはこころから感謝しています。

私：さあ、次はお姉さんです。お姉さんの「好きな映画の種類はなんですか？」

お姉さん：私はアクションの映画が好き。昔は恋愛の話がすきだったけど、年とってからは恋愛にあんまり興味がなくなってね。

私：そうですか。俺お姉さんと映画見たこと全然ないから、韓国に帰ったらお姉さんと映画みたり、デートしたくて聞いてみました。帰ったら、私とデートしましょう。楽しみにしといて。

お姉さん：分かった。楽しみにしてる。そして、「帰ってくる日まで、気をつけて。ご飯はちゃんと食べて！友達と仲よくしなさい。」（心配な声で）

私：分かった。分かった。マジお母さんみたい（笑）

私：次はお兄さんに質問です。「自分の息子が一番かわいいときはいつですか」

お兄さん：息子が一番かわいいときは、寝ているときです。起きているときは、あっちこっちかき回したり、ゆらゆらしたり、わがままで、寝ているときが一番かわいいと思います。

私：何ですか。それは。私はいつもかわいがっているのに、俺のほうがもっとかわいがってるのではないですか。わがままでもかわいいです。私は世界一のかわいさだと思っています。お兄さんの息子と直接インタビューできないのが本当に残念ですね。

以上でインタビューを終わらせていただきます。家族みんなありがとうございます。

これから、私の大切な家族との関係をよりよくするために頑張りたいとおもいます。家族と離れている今、家族とつながれるのは電話しかありません。今は家族との連絡をあまりとってないので、家族と連絡を一週に3回くらいはとるつもりです。家族はとて私の心配をしていると思います。今回のレポートで家族とインタビューをしながら、家族にこれ以上心配かけてはいけないと思いました。

そして、韓国に帰ったら、もっと家族と過ごす時間を増やしたいです。私はいつも家族よりは友達と時間を過ごしました。家族の大切さは分かっていたのですが、「家族はなんでも理解してくれる」と言う甘い考え方を持っていました。それで、今まで家族との思い出があまりないです。家族写真も私がとても幼いときの家族写真しか持っていないです。両親もどんどん歳をとっています。それで、韓国に帰ったら、家族みんな集まって家族写真をとったり、両親と映画館に行つて、映画を見たり、おいしい食堂に行つて外食もしたいです。

私の自慢の種であるお兄さんの息子とは、私が韓国に帰ったら、前より大きくなっているはずです。もっと話せるようになっているのか楽しみです。今回直接インタビューはできなかったですが、韓国に帰ったら、たくさん遊んであげるつもりです。お兄さんは仕事で忙しいので、代わりに私が遊園地とか動物園につれて行きたいと思います。

今回インタビューしながら、軍人のときよりもっと家族の大切さが分かりました。家族とはいつも日常的な話だけでしたが、多分かコミュニケーションの機会が、より真剣で深いこと話し合っただけで家族同士のつながりがもっと強くなったと思います。そして、家族がもっとなつかしくなって、会いたくなりました。

家族は永遠に、どんなことがあっても私のみかただと言う気持ちになって、心強いです。私も家族にとって、かわいくて頼もしい息子、弟になりたいと思いました。これから、親孝行ができるようにして行きたいです。今日すぐ家族に電話して、「ありがとうございます」、「愛しています」って言うつもりです。家族には心から感謝しています。韓国へ帰るまでみんな元気にいてほしいです。